

# バーゼル動物園 (the Zolli) のゾウ

## 【The Elephants in Basel Zoo (the Zolli)】

本章の英語版：[http://www.upali.ch/basler\\_en.html](http://www.upali.ch/basler_en.html)

Elephant encyclopedia：[http://www.upali.ch/elephant\\_encyclopedia.html](http://www.upali.ch/elephant_encyclopedia.html)



**Zoo Basel**

### Malayka (メス) のんびりや (落ち着いたゾウ)



識別上の特徴：滑らかな額，ほとんど毛の生えていない尻尾，牙は下向きで，非常に長く細く尖っている。

1971年に生まれた Malayka は，若い頃，スイスのサーカス・ニー (Circus Knie) で過ごし，1984年に，バーゼル動物園に来園した．彼女は，群れと簡単に仲良く暮らして優秀であるが，ちょっと物ぐさ (怠惰) である．そうい

うわけで，彼女は，全ての「不必要な」運動を避け，しばしば，日が当たる場所に後肢を交差して立ち，目を半分閉じて居眠りする．しかし，食事時間がきた際には，彼女はバッチリと目が覚める．

Malayka は，3頭の成獣のメスゾウの中では，最も下位のゾウである．3頭の若いゾウの中で，最も年長で最も高位で急速に成長している Maya (後述) との関係がしばしば緊張しており，Maya は，成獣のメスゾウの階級組織に最初に影響を及ぼすだろう．

### Heri (メス) 用心深い (注意深い) ゾウ

識別上の特徴：額にはっきりとした水平のしわがあり，牙は短い．

Heri は，1976年に，南アフリカのクルーガー国立公園で生まれた．

Heri は，1979年から，ハノーバー動物園で暮らし，1988年に，バーゼル動物園に来園した．3頭の10歳代のゾウたちの世話を慎重にしている Heri は，親切で，注意深く，保



護者的な「おばさん」である。彼女は、基本的には、おとなしく、群れと簡単に仲良く暮らしているけれども、彼女は、彼女が慣れていないものに非常に素早く興奮したり、脅威と思えるものに反応したりすることがあり、そして、気まぐれに反応することがある。好奇心が強く、学ぶことに熱心で積極的な彼女の

性格から、日々のゾウの訓練で中心となるものが決まる。

Heri は、第二位のゾウに過ぎないけれども、彼女は、それにもかかわらず、群れの運命を決めている。とても年老いた Ruaha が死んだ後は、おそらく、Heri が群れのボス（リーダーメス）の役割を引き継ぐだろう。

### **Rosy (メス) お茶目 (遊び好き) なゾウ**



識別上の特徴：滑らかな額、右の牙は、左の牙よりわずかに短く、高い場所から生えている。両方の歯は、前に向いている。

Rosy は、たぶん、1995 年に、ボツワナのチュリ保護区で生まれた。Rosy は、Maya とは正反対に、非常に遊び好きで、仲間のゾウに対してと同じく、飼育係と直接、体を接触することが好きである。Rosy は、非常に穏やかな性格

であり、そういうわけで、彼女はより若いのが、非常に自信過剰の Yoga よりも、実質的にすでに地位が高い。

### **Maya (メス) シャイ (内気) なゾウ**



識別上の特徴：Maya は、3 頭の若いゾウたちの中で最も大きいけれども、牙がない。

Maya は、たぶん、1994 年に、ボツワナのチュリ保護区で生まれた。

牙のない子ゾウ（先天的に、牙が生えるための基礎部分が全くない）が混じったアフリカゾウの群れは、これまで常に存在していた

(通常、上下 8 本の切歯「前歯」のある人間でも、4 本や 6 本の切歯の人が居るのが普通であるように)。牙は、てことして使い、何かを壊して開けたり、押したり、地面を掘り返したりする非常に有効な道具である。もし、牙がない場合は、エサを探すことと自己防衛に関して、かなりのマイナスの影響がある。そういうわけで、牙のない個体は、繁殖において、牙のある仲間のゾウよりも、長期的に見て成功しない(うまくいかない)。

こういった理由で、全く牙のない個体群は、けっして形成されなかった。しかし、ハンターは何世紀にもわたって、象牙を探し求め、そして、その他の戦利品(記念品)のために、常に、できる限り大きな牙を持ったゾウだけを射殺していた。このため、牙がないという遺伝的な「ミス」は、生き残るための有利な条件に変わった。この人間の干渉(妨害)の結果に比例して、今日、牙のない個体が、比較的多く見られている。

Maya は、かなりシャイ(内気)な性格のようであり、地味で控えめで、もの静かである。彼女は、とても容易に群れと共に暮らすことができるが、彼女は、他のゾウに触られることを好まないし、彼女は、他の個体と距離をおくことが好きである。Maya は、その年齢と大きさのために、チュリ保護区出身の群れのボスである。

## Yoga (オス) 若いいたずらっ子(若いワンパク者)のゾウ



識別上の特徴：額に明らかなしわがあり、双方の牙は、だいたい同じ長さで下向きに伸びている。

Yoga は、たぶん、1996 年に、ボツワナのチュリ保護区で生まれた。

Yoga は、信じられないほど早く学び、なにごとにも関心を持つ(もし、それが食べられるものの場合には、特に)。彼の食欲は、抑えられないようである。そして、冒険心に富ん

だいたずらっ子である彼は、彼の 2 頭の「おばさん」ゾウからだけではなく、他のゾウたちが食べている魅力的なエサを何度も盗んでいる。したがって、彼は体重が増え、さらに、その結果、彼自身の自信も急速に増している。

成長したアフリカゾウのオスの体重は、7 トンを越えることがある。アフリカゾウのオスたちは、このように、最も重い陸棲哺乳類である。Yoga は、10 歳で早くも性成熟に達したようである。しかしながら、真の野生状態で生活しているオスゾウたちは、30 歳を越えた大きなオスゾウが、若いオスゾウたちを力で支配するので、20 歳以前に自分の子

をつくれることは滅多にない。

## **Ruaha**（メス）　メスゾウの群れのボス（リーダーメス）

2010年7月29日に、世界最高齢のゾウだった **Ruaha** は死亡した。



世界最高齢のゾウであった **Ruaha** は、スイスのバーゼル動物園で 59 歳で亡くなった。彼女は、1952 年の来園時には 1 歳だった。木曜日に、飼育係が彼女の死体を発見した。動物園の仲間のゾウたちは、鼻で **Ruaha** の身体を数分間なで回すことで最後の敬意を示した。

識別上の特徴：皮膚は、粗く樹皮のようである。牙の先端は鋭くないが、牙は巨大である。

**Ruaha** は、1951 年に、タンザニアの **Ruaha** 平野で生まれ、1952 年 11 月 1 日からバーゼル動物園で暮らしている。

彼女は、世界中の飼育下のアフリカゾウの中では、最も高齢のゾウである。**Ruaha** が高齢であることは、まさに、高齢の人間にもまた見られるように、彼女の体つきだけでなく行動においても、明らかである。一度（かつて）、彼女の巨大な体は小さくなり、顔がへこんだ。この非常に年老いたゾウはまた、離れてゾウの群れの傍らで、彼女の平和を楽しむことが好きである。**Ruaha** は、かなりの高齢にもかかわらず、制約がなく自由なボス（リーダーメスまたは女家長）の座に居る。ここで、リーダーメスまたは女家長（*matriarch*）という言葉を使ったのは、それがメスばかりのゾウの群れによりふさわしいと思ったからである。

**Ruaha** の粗く樹皮のような皮膚は、老年期の徴候ではなく、遺伝的な皮膚角質の過剰産生の結果であり、過剰な角化症である。彼女が、もっと若い頃から、**Ruaha** の角質細胞は、

皮膚の表層に急速に増加していた。その結果、過剰に増殖した角質が、積み重なった。

バーゼル動物園 (the Zolli) のアフリカゾウについて、より素晴らしく新しい写真が見たい場合は、<http://zolibasel.ch.vu/> をご覧ください。